

# Taketa City Gikai News

NO.43

平成28年8月1日発行

たけた 市議会だより

- 一般質問 ..... 2～6
- 社会文教常任委員会 行政視察報告 ..... 7
- 予算特別委員会 ..... 8
- 6月定例会の議決結果 ..... 9



竹田市スポーツ少年団交流大会  
(長湯ダム湖)



# 一般質問 市政を問う

一般質問



6月16日・17日、7人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。  
なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。

吉竹 悟

## 熊本・大分地震の被害状況は

**問** 熊本・大分地震で、農地や住宅等の被害状況と、今後の市民や観光施設等への支援策を問う。

**農林整備課長** 地震による災害被害額は、水田12件、2300万円、水路20件、7000万円、頭首工3件、300万円、道路6件、900万円、合計41件で1億5000万円。大分県經由で国へ報告した。

**建設課長** 地震発生直後の被災箇所数は32か所。全面通行止めは5路線。現在、通行止めは2路線だが、迂回路があり、孤立集落はない。片側通行は、現在復旧している。住宅は、半壊認定が1棟。一部破損相当が92棟だった。今後、住宅被害状況を把握し、被害状況に応じてお見舞金を給付する。

**商工観光課長** 観光施設の被害は、5月末時点で建物と商品の被害が約



3100万円、キャンセルを含めると約2億4480万円。余震の影響で5月の入込客は、ほとんどの施設で前年対比40%以下となっている。久住地域の観光施設の入込客も平均で対前年比42%、城下町も対前年比30%を割り込んでいます。この状況が夏休みまで続けば、極めて深刻な状況となる。指摘があった商品券や独自のクーポンについては、国・県の制度と補正予算に計上しており、風評被害対策緊急観光誘致事業や、既存の予算をうまく連動させ、最大限の効果を生む方法の研究をする。

## 大船山登山バスについて



**問** 大船山登山バスの成果が現れているが、更に三つの登山道を横断する「夢ある登山道」の整備はできないか問う。また、七里田温泉との連動はどうか。

**久住支所長** 1200メートル程の標高にある三つの登山道がつながれば、登山ができない人に素晴らしい景

色を堪能していただける。ハードルは高いが早速調査していく。

**商工観光課長** 七里田温泉の歴史的価値や高い濃度の炭酸泉を実感・体験できる仕組みを考える。登山バスとの連携についても研究していく。

このほか竹田市の経済状況について質問した。

加藤 正義



県立竹田高校の魅力化に向けて

**問** 豊肥地区唯一の進学重点校、昨年度は、国公立大に58名、私立大に82名、公務員試験に5名合格。第二の黄金期と称されている。しかし、3年間入試で定員割れ、来年以降市内中学3年生は140人台に、総数でも定員160名に満たない。もしクラス減になれば、進学校としてのダメージ大。受験生を増やすためにも、他市のように、月3万円、20名程の就学支援制度の創設をしてはどうか。

**企画情報課長** 魅力ある高校の推進を行い、存続の機運の醸成が進むことであれば、行政としても、受け皿づくりやその運動を牽引していく努力をしたい。

**問** 通学費の助成をしてはどうか。

**企画情報課長** 通学方法などで不公平感のない助成の検討をしたい。

**問** 岡藩の藩校・由学館は約300人が学び、このうち100人程が、寄宿生。学びの場所に寮は必要、新築を要望してはどうか。

**企画情報課長** 全生徒が自宅通学であり、下宿等の該当者はいない。教育ブランドの向上に取り組み、高校と市民が連携を図り、行政が後押しするような包括的取り組みが重要。

**問** 魅力化を検討するための協議、活動の組織づくりが必要と思うがどうか。

**市長** 後藤輝美校長の下、優れた実績を収め、ビジョンも方向性も素晴らしい。どう応援していくか、市民と行政の使命。組織づくりを検討したい。

三重総合高校久住校の発展に向けて

**問** 「農業専科と募集の範囲を全国

に広げる」との要望について、県教委のその後の進展は。

**市長** 先日、教授陣の配置なども要望。県からは「協議の場は整った。より良い方向へもっていきたい」との回答を受けた。久住校存続要望から10年が経過したが、門戸は開かれたと判断した。

**問** 35名が寮生活しているが、老朽化している。県に新築要望してはどうか。

**市長** 専門校と全国公募を視野にいて、県も動き始めた。寮も必要となり、これから最重要課題となる。



久住校「うし部」が久住地区畜産共進会に出品し入賞

阿部 雅彦



熊本・大分地震への対応について

**問** 福祉避難所の設置と運営について、早急なる検討が必要ではないか。

**社会福祉課長** 福祉避難所の在り方を再構築し、開設と運営についての検討を重ね、マニュアル化していきたい。

**問** 岡城跡の復旧工事と全国山城サミットについては、どのように取り組むのか。

**文化財課長** 国の予算措置も受けながら、早急な復旧工事に取り掛かりたい。また、岡城跡の復旧状況や魅力を合わせて、全国に情報発信していきたい。

**商工観光課長** 竹田市観光ツーリズム協会や大手インターネット代理店と連携して、バスツアーや航空券と宿泊をセットにした旅行等を開発していきたい。また、外国のお客様向けに、スマートホンのアプリで楽し



める情報伝達もしていきたい。

**問 城原小学校の耐震化工事の進捗状況は。**

**教育総務課長** 9月末予定の工期を前倒しして、2学期の始業式から学校生活がスタートできるように取り組みたい。

**問 ボランティアポイントを含めた行政連携ポイント制度を市内で実施してはどうか。**

**商工観光課長** 制度の目的・活用方法・財源等を含めて、広く市民の皆様と研究や検討をしていきたい。

**暮らしのサポートセンターの取組について**

**問 3つの暮らしのサポートセンターの拠点整備ができていない。行政の支援が必要ではないか。**

**高齢者福祉課長** 竹田西部「なんせい」については、国の予算により、竹田市社会福祉協議会玉来分所を改修した拠点整備を検討している。竹田南部「あけほの」・竹田東部「陽だまり」の暮らしのサポートセンターの拠点整備については、今後も国の予算を活用した拠点整備を考えたい。



▲7番目に設立された暮らしのサポートセンター・竹田東部「陽だまり」

佐藤 美樹



**畜産振興について**

**問 「草原の黒いダイヤ応援プロジェクト」の取組状況は。**

**畜産振興室長** 畜産振興を目的とした一口20万円の応援会員制度。会員には竹田の特産物を返礼、市内観光施設利用割引等の特典を設定している。集まった会費は、繁殖用雌牛の購入費助成や環境の維持管理費等に使用する。

**問 地域おこし協力隊が畜産分野にどう関わっているのか。**

**畜産振興室長** 3名の協力隊員が久住地域肉用牛ヘルパー組合に参加し、給餌や搾乳などの作業に従事している。協力隊の任期終了後に竹田市で畜産経営をする意向を示している。

**問 畜産クラスター事業<sup>※注1</sup>についての見解は。**

**市長** 子牛市場が、農家戸数・飼養頭数も減少している。原因は高齢化だ。後継者のいない高齢の畜産農家は手元に現金がある今を、やめ時だと見ている傾向がある。この現状に歯止めをかける手法がクラスター制度だと考える。経験豊かで技術力のある農家が今のうちに集団化し、若い畜産家に知識を伝承する場となる。クラスター制度を竹田の畜産の起死回生政策と捉えている。

**畜産振興室長** 竹田市和牛振興会役員会において協議会の設立を打診した。今後は、クラスター協議会設立に向け、計画策定と関係団体や個人に対し、協議会の目的や役割の理解促進に努める。

**問 養豚、養鶏を含めた総合的なクラスターを構築し、竹田高原ブランドとして、畜産全体が連携した宣伝・販促ができないか。**

**畜産振興室長** 飼料形態、流通形態が異なるので総合するのは難しいが、分野別のクラスター協議会設立を目指す。



**交通弱者支援について**

**問 コミュニティバスは、乗車客がいなくても全バス停を回らなければならない。路線や運行時間の見直しが必要ではないか。また、買い物や通院が困難な交通弱者支援として、<sup>※注2</sup>デマンドタクシーの導入ができないか。**

**企画情報課長** 既存の交通形態の見直しも含め、実施の方向で協議したい。その他、市職員の研修制度と嘱託職員の処遇について質問した。

※注1 畜産クラスター事業…畜産農家や関係事業者が連携し、地域ぐるみで高収益型の畜産を目指す事業

※注2 デマンドタクシー…自宅や指定の場所から目的地まで要望に沿い、安価な料金で応える予約制の公共交通サービス



## 定年延長制度について

**問** 消防職に係る今回の定年延長制度適用人事について問う。

**総務課長** 条例には、①職務の特殊性や遂行上の事情により運営に支障が生じ、②高度の知識、技能または経験を必要とする場合、特例的に適用できるとある。本年度、消防長ポストは法や条例で定められた資格基準を満たす職員が退職したため、消防・救急・防災の現場を総合的に統括できる人材が必要という判断から特例として適用した。

**問** 定年の延長は、行財政改革を推進する市の方針に逆行するのではないか。

**総務課長** 職員の減員と組織体制を柔軟に見直していくことを基本的に総合的に検討した結果、定年延長制度を取り入れても行革方針に逆行しているとは考えていない。

**問** 制度利用について、職種が変わることは問題がないのか。

**総務課長** 行政職の長から消防長という例はあり、法的には問題ないと考ええる。また来年以降、制度を継続するということは現時点で想定していない。

## 高齢者福祉について

**問** 国の介護報酬の切り下げや高齢化が、地域にどのような影響を与えているか。

**高齢者福祉課長** 介護報酬が見直され、基本報酬が引き下げられれば、運営団体としては赤字経営回避のために、人員削減に乗り出す恐れがある。結果として、介護業界全体としての人員が減り、介護サービスの質が低下するのではという心配がある。

**問** 介護を含めた福祉現場で働く人材の確保について、市はどう対処するのか。

**高齢者福祉課長** ①平成23年にスタートしたヘルパー養成講座を今後も続けていく。②高齢者の見守り等地域の福祉従事者の参入を図る。③職員の負担軽減のための介護ロボットの導入を推進する。④キャリアー

パスの確立を図るための研修支援などを推進する。



▲ヘルパー養成講座



## 直入荘事業について

**問** 当初予算でミニクアハウス（温泉棟）の実施設設計予算は、審議十分との附帯決議がなされ執行できない状況である。前段の基本設計が3

月末に完成しているが、その成果についての説明がないがなぜか。

**直入支所長** 日程調整がつかず、本日の公共施設委員会で説明する。

**問** ミニクアハウスと宿泊棟は分離して実施、宿泊棟には補助金1億円で民設民営化が決定しているが公募がなされないのはなぜか。

**直入支所長** クアハウスの魅力や人氣度が宿泊稼働率に大きな影響を与えるため、温泉棟の設計完成をみて公募の予定。

**問** 宿泊棟には内湯がいらないうのが今までの見解であったが、なぜ今、温泉棟が重要となったのか。

**市長** 今回の構想は、温泉棟を囲んで宿泊棟を造り上げるという話ではないから、分離して考えることが理想であると申し上げた。宿泊棟だけで経営が成り立つていくということにはならない。温泉棟も同じであり、連動させることが必要である。

**問** 民間活力度利用（PFI）で温泉棟と宿泊棟と一緒に業者の公募をしてはどうか。

**市長** 両施設の要件の設定が相違するため、また今までの経緯から同一とはできない。



**問** 地震により観光客数が極めて低い状況にある。このような状況下に実施することが適切なのか。

**市長** 厳しい状況下でも挑戦する業者はいる。成功することを確信しながら挑戦していく。



▲国民宿舎「直入荘」跡地

## 竹田地区都市再生整備計画について

**問** 歴史資料館改修計画が竹田城下町（岡城跡）歴史文化交流センターとなり、県立美術館の協力・支援のもとに博物館や美術館の機能を持たせるとあるが、その計画についてどうか。

**市長** 昭和50年から本年度までの城下町の定住人口の減は60%である。その時建設の公共施設は老朽化している状況にあり、城下町の持つ文化的な魅力を発揮できていない状況にある。

中村 憲史



## 熊本・大分地震について

### 竹田市の被害状況は。

**問** 総務課長 人的被害がほとんどなかったことは、何よりも幸いであった。しかしながら、こうした中にも数々の被害が幅広く市内全域に発生した。

**問** 激甚災害の指定については。



▲被害の大きかった久住町山中地区



## 農林整備課長

国は4月25日に激甚災害指定。これにより、農地等の災害復旧事業等に係る補助の特例措置が適用され、農地及び農業用施設災害復旧事業の国庫補助率が、通常の災害より嵩上げされる。

**問** 義捐金をいただいていると聞くが対応は。

**問** 会計課長 市内外より、皆様の温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。住居等の被害程度を調査し、お見舞金を給付し、生活支援の一助とする。

**問** 支所との一体感・緊張感が希薄

では。

**総務課長** 課長級で構成する対策本部会議では、総務企画、市民福祉、産業建設、水道、消防、教育の六つの対策部に加え、萩、久住、直入の各対策本部から状況報告や課題協議を行った。避難所の対応協議についても、避難所関係の担当部門に加え、支所の職員も交えた協議の場を別途設定し、状況報告を受けながら対応してきた。

## 公設民営施設について

**問** 災害復旧費の予算計上について、自己負担はあるのか。公設民営施設あり方検討委員会（仮称）での検討内容は。被災者の心情を思うとき、市民の皆さんの理解を得られると思うのか。

**久住支所長** 副市長をトップとし、総務、財政及び久住支所で、今後のあり方検討をどう進めていくかについて、協議を行ってきたところである。収益性のある施設については、負担の徴収、譲渡、売却、設置趣旨に沿って目標達成ができていくか、内容を検討し指定管理を続ける理由等々、しっかりと議論をしていく。

# 社会文教常任委員会 行政視察報告

副委員長 佐藤 美樹

7月12日から14日にかけて兵庫県

明石市と岡山県倉敷市を訪問した。

明石市では、子どもの貧困対策について研修を受けた。明石市は、人口約29万人、面積は竹田市の10分の1というコンパクトシティである。市の中心政策として、「ひと」とりわけ、子どもの育ちを核としている。

今回の研修課題である子どもの貧困問題は、昨今メディアでも殊に取り上げられ、子どもの人権擁護や、健全な育成環境の確保が議論されている。この問題には、保護者の経済状況や家庭環境、不登校など複数の課題が絡み合っていることが多い。

明石市では、特に親の離婚に係る子ども養育支援に独自の施策を行っている。離婚届用紙受け取りの際に、親の離婚が子どもに与える影響を父母に啓発するパンフレットや、養育費・面会交流等の取り決め合意書を配布し、子どもへの配慮を促してい



▲兵庫県明石市

る。また、離婚前の相談、及び離婚後の親子の交流継続支援にも工夫をこらしている。このような取組で、一人親世帯の経済と子どもの精神的な安定を確保することを目指している。また、担当部署に弁護士資格を持つ職員を配置し、施策に専門的に関わらせている。明石市の予算・施

策・人事を学び、市がこの課題について、いかに真剣に向き合っているかが伺えた。

倉敷市では、男女共同参画の取組について、視察を行った。倉敷市長は3期目を務める女性市長であり、昨年、日本女性会議の開催地となったことから研修地とした。

倉敷市は、男女共同参画都市宣言に始まり、条例制定、男女共同参画推進センター設置と、その取組は、日本でもかなり先駆的である。その目的は、誰もがいきいきと活躍できるまちづくりであり、女性が活躍できる環境整備は、男性のワークライフバランスの浸透や子育て支援の充実につながる。倉敷市では、子どもの医療費無料化や保育所整備を国に先駆けて市単独で実施し、合計特殊出生率がこの7年間で1・50から1・63へと上昇したという。今後の課題として、市民の意識調査におい



▲岡山県倉敷市・男女共同参画推進センター

て、男性は仕事、女性は家庭という固定概念の割合が高く、その意識改革が挙げられた。

また、男女共同参画推進センターは市庁舎から独立し、百貨店内にあり、利用しやすくしている。ここでは主に、DVやセクハラ相談を受けている。

子どもの貧困対策と男女共同参画の両課題は、人が安心して暮らせる社会づくりの基本である。竹田市政において、この取組がしっかりと行われるよう、研修の成果を出したい。





# 第2回定例会 予算特別委員会

平成28年度  
一般会計補正予算

可決

8億7,338万円6千円増額

(総額：200億1,463万7千円)

平成28年第2回定例会・予算特別委員会が6月22日・30日の両日開催され、付託された一般会計予算を慎重審査した結果、全会一致で可決されました。

予算特別委員会

## 補正予算の概要

### 【歳出】

#### ◆総務費

|                   |         |
|-------------------|---------|
| コミュニティ助成事業(ソフト事業) | 350万円   |
| おためし移住空き家改修事業     | 333万4千円 |

#### ◆民生費

|                             |             |
|-----------------------------|-------------|
| 介護予防生活支援拠点整備事業              | 2,691万8千円   |
| 事業用資産用地購入費(コミュニティセンター建設予定地) | 1億8,455万8千円 |
| 結婚新生活支援事業                   | 810万円       |
| 子育て応援給付事業                   | 300万円       |

#### ◆農林水産業費

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| 竹田市認定農業者農地集積促進交付金 | 500万円     |
| 6次産業化サポート体制整備事業   | 1,551万円   |
| 道の駅竹田農産加工所整備事業    | 5,774万9千円 |
| 活動火山防災営農施設整備事業    | 3,145万円   |
| おおいた豊後牛供給体制事業     | 3,675万円   |
| 椎茸種駒購入費助成事業       | 500万円     |

#### ◆商工費

|                  |       |
|------------------|-------|
| 風評被害対策緊急観光誘客事業   | 300万円 |
| 長湯温泉療養文化館特別会計繰出金 | 130万円 |

#### ◆土木費

|                          |           |
|--------------------------|-----------|
| 道路台帳整備委託料                | 515万6千円   |
| 玉来ダム周辺整備事業               | 992万1千円   |
| 都市公園整備事業測量設計等委託料(文化会館周辺) | 1,190万5千円 |

#### ◆教育費

|             |           |
|-------------|-----------|
| 城原地区館屋根防水工事 | 399万6千円   |
| 文化会館建設事業    | 4億506万2千円 |

#### ◆災害復旧費

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 岡城跡及び岡藩主中川家墓所災害復旧費 | 5,218万5千円 |
|--------------------|-----------|

#### ■人件費

|                     |              |
|---------------------|--------------|
| 給与減額措置及び共済負担金財源率変更等 | △1億2,523万7千円 |
|---------------------|--------------|

### 【歳入】

|              |             |
|--------------|-------------|
| 国庫支出金        | 2億9,975万6千円 |
| 県支出金         | 7,774万4千円   |
| 財産収入(立木売却収入) | 170万円       |
| 繰入金          | 4億8,757万7千円 |

#### 《内訳》

|             |             |
|-------------|-------------|
| 地方創生基金      | 1,430万円     |
| 財政調整基金      | 2億4,835万9千円 |
| 福祉振興基金      | 991万8千円     |
| 公共施設等総合管理基金 | 2億1,500万円   |

|     |         |
|-----|---------|
| 諸収入 | 660万9千円 |
|-----|---------|



平成28年  
第2回定例会

平成28年6月10日～30日  
議案・請願・陳情等の議決結果

議  
決  
結  
果

| 条 例 案     |                         |     |
|-----------|-------------------------|-----|
| 議案番号      | 件 名                     | 結果  |
| 報 告 第 8 号 | 専決処分事項「竹田市税条例の一部改正」について | 承 認 |

| 予 算 案     |                                       |     |
|-----------|---------------------------------------|-----|
| 議案番号      | 件 名                                   | 結果  |
| 報 告 第 7 号 | 専決処分事項「平成28年度竹田市一般会計補正予算(第1号)」について    | 承 認 |
| 議 案 第 81号 | 平成28年度竹田市一般会計補正予算(第2号)について            | 可 決 |
| 議 案 第 82号 | 平成28年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算(第1号)について   | 可 決 |
| 議 案 第 83号 | 平成28年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第1号)について        | 可 決 |
| 議 案 第 84号 | 平成28年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について      | 可 決 |
| 議 案 第 85号 | 平成28年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について    | 可 決 |
| 議 案 第 86号 | 平成28年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)について   | 可 決 |
| 議 案 第 87号 | 平成28年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計補正予算(第1号)について | 可 決 |
| 議 案 第 88号 | 平成28年度竹田市水道事業会計補正予算(第1号)について          | 可 決 |
| 議 案 第 89号 | 平成28年度竹田市一般会計補正予算(第3号)について            | 可 決 |

| 一 般 案     |           |     |
|-----------|-----------|-----|
| 議案番号      | 件 名       | 結果  |
| 議 案 第 90号 | 財産の譲渡について | 可 決 |

| 請願・陳情・意見書案 |                                                            |     |
|------------|------------------------------------------------------------|-----|
| 議案番号       | 件 名                                                        | 結果  |
| 請 願 第 2 号  | 義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書の提出を求める請願                          | 採 択 |
| 陳 情 第 2 号  | コミュニティセンターの早期建設と歴史資料館及び水琴館の再生(建替え)を求める陳情(コミュニティセンターに関する事項) | 採 択 |
| 意見書案第1号    | 義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書                                   | 可 決 |

賛否一覧表  
※賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

| 議員名(議席番号順)<br>議案番号・件名 |                                                            | 佐藤 | 鷲司 | 山村 | 阿部 | 渡辺 | 岩屋 | 徳永 | 佐田 | 日小 | 森  | 加藤 | 吉竹 | 本田 | 中村 | 和田 | 後藤 | 足達 | 坂梨  | 審議結果 |
|-----------------------|------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|------|
|                       |                                                            | 美樹 | 英彰 | 英治 | 雅彦 | 克己 | 千利 | 信二 | 啓二 | 秀之 | 哲秀 | 正義 | 悟  | 忠  | 憲史 | 幸生 | 憲幸 | 寛康 | 宏之進 |      |
| 陳情第3号                 | コミュニティセンターの早期建設と歴史資料館及び水琴館の再生(建替え)を求める陳情(歴史資料館及び水琴館に関する事項) | ○  | ●  | ●  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○  |     | 採 択  |

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄

表の見方…○：賛成 ●：反対

# 熊本・大分地震お見舞い

議長 坂梨 宏之進

このたびの熊本・大分地方を震源とした地震によりお亡くなりになった方々、ご遺族の皆様には、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被害を受けられました皆様に、竹田市議会を代表いたしまして、心よりお見舞いを申し上げます。

4月14日以降に発生したこの地震は、熊本南阿蘇地方を中心に、九州地方がかつて経験をしたことのないような甚大な被害をもたらした、多数の尊い人命が失われました。

竹田市においても、軽傷を負われた方や多くの住家等被害も発生し、余震が続く中で、一時は千人を超える方々が自主避難をされておりました。また道路被害による通行規制がなされ、上水道・簡易水道の濁りによる飲用制限、一部地域の停電など、ライフラインにも影響が出ておりました。農業関係においても被害が出ていますが、国から激甚災害の指定を受けたことにより、農地及び農業用施設に係る災害復旧事業は国庫補助率が嵩上げされる見込みです。

こうした中、市内外から、心温まるお見舞いやご支援をいただき、復旧に役立ててほしいと多くの義捐金が寄せられました。改めて感謝を申し上げる次第でございます。今後は、住居等の被害程度を詳しく調査し、お見舞金として給付していくこととなっております。

竹田市議会といたしましては、今回の震災を踏まえ、多様化する災害に強いまちづくりを目指し、議員一丸となって取り組んでまいります。今後とも、市民の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 全国市議会議長会表彰

去る5月31日に開催された全国市議会議長会・第92回定期総会において、足達寛康議員が市議会議員在職15年以上の永年勤続により表彰されました。



## 暑中御見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどの挨拶状を廃止させていただきます。

また、本年度初盆を迎えられるご親族へのお供物等につきましても失礼させていただきます。新仏のご冥福をお祈りいたします。

竹田市議会

## あとがき

postscript

8月5日は、南米大陸初開催となるブラジル・リオデジャネイロ五輪の開幕日である。9月7日からはパリオリンピックも開幕となる。日本選手団331人(五輪)・127人(パラリンピック)の中には大分県出身者も含まれ、メダル獲得を期待されている。それにしても、日本代表選手になるには並大抵の努力ではなかったはずだ。夢が叶った選手一人ひとりに、心底からエールを送りたい。

ところで、我が竹田市にも元五輪選手がいることをご存じだろうか？ 地域おこし協力隊員として活躍する小笠原順子さんその人である。2000年シドニー五輪の競泳日本代表として出場し、200メートル平泳ぎで準決勝進出という成績を収めている。竹田つ子も大いに感化されている。

編集委員

日小田秀之

